

## まちづくりに関する市町村アンケートの結果

### 【調査の概要】

#### ■調査の目的

道内の市町村のまちづくりなどの意識や取組状況を調査し、「北の住みいるタウン」の取組に関する進捗状況を把握するとともに、今後の「北の住みいるタウン」の施策形成に反映させることを目的とする。

#### ■調査項目

1. コンパクトなまちづくりに関する取組状況について
2. 低炭素・資源循環に関する取組状況について
3. 生活を支える取組に関する取組状況について
4. 防災に関する取組状況について
5. 「北の住みいるタウン」の取組について
6. 将来を見据えた地域づくりについて
7. その他、意見・要望について

#### ■調査期間

令和3年8月2日～令和3年9月2日

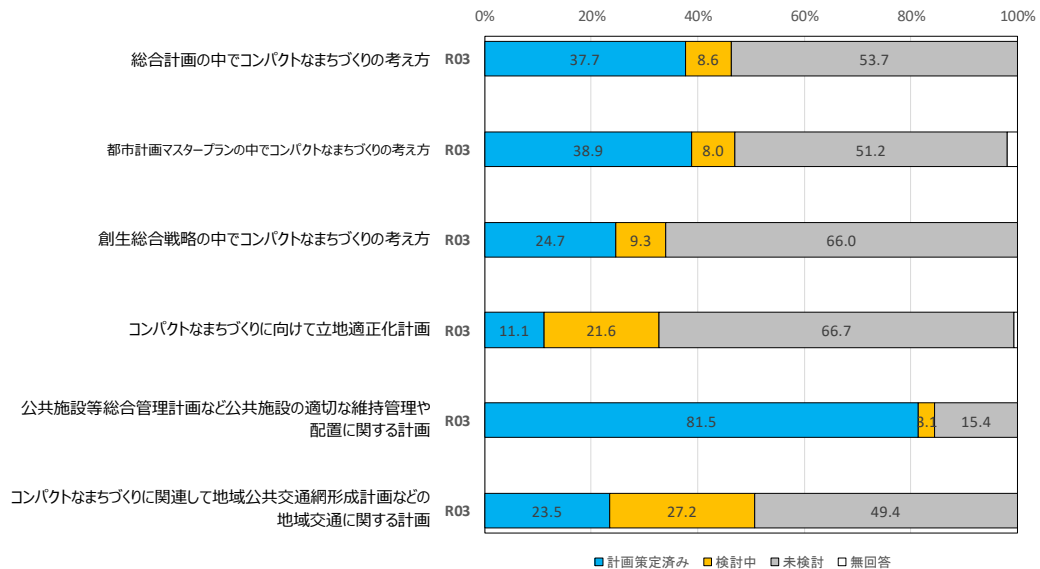
#### ■調査回収状況

有効回答 162市町村（全179市町村 回答率90.5%）

## まちづくりに関する市町村アンケートの調査結果

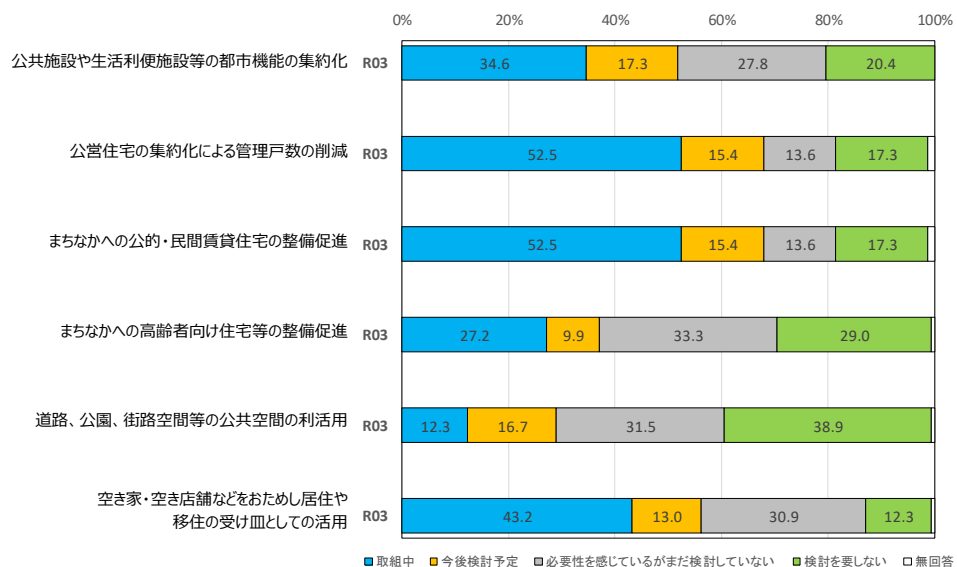
## 1. コンパクトなまちづくりに関する取組状況について

## 問1-1 コンパクトなまちづくりに関する計画の策定状況（複数回答）



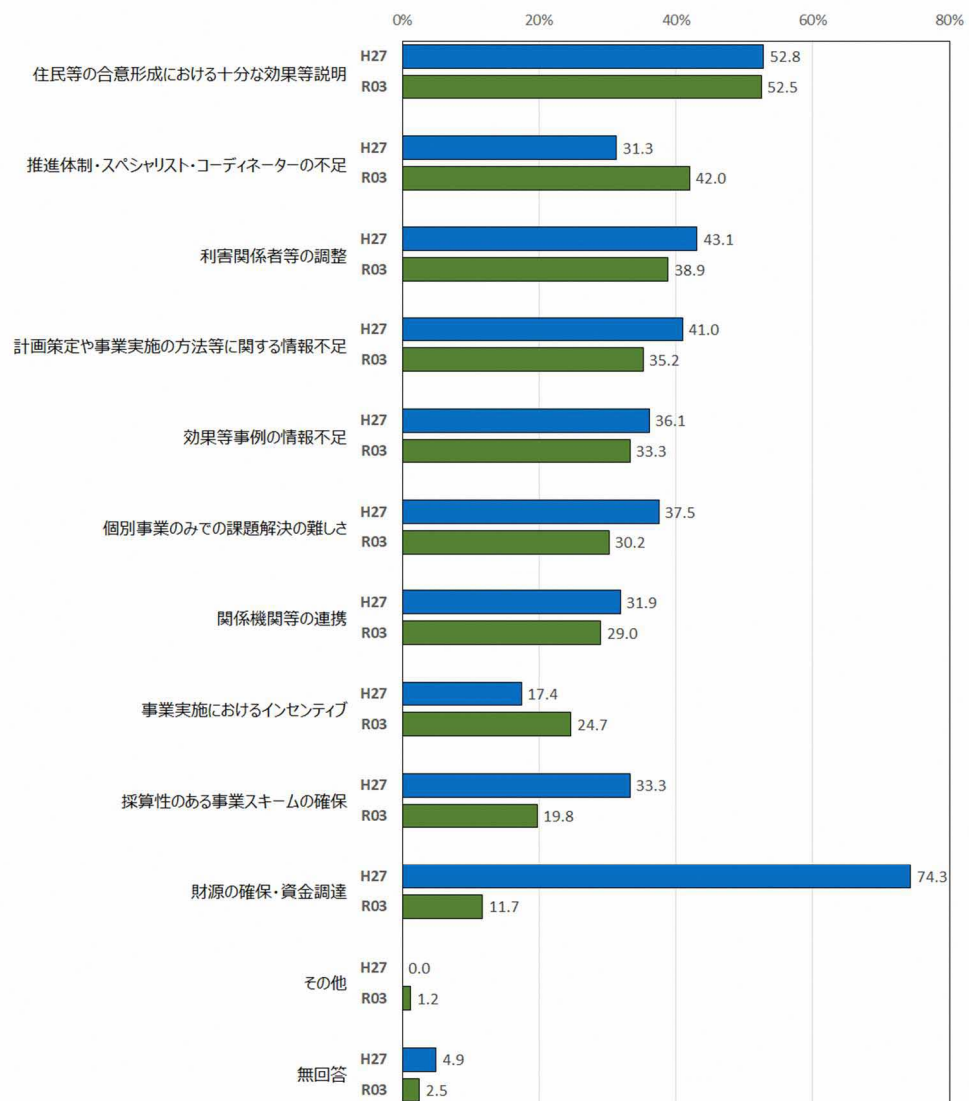
- ・ 公共施設の適切な維持管理や配置に関する計画（81.5%）
- ・ 都市計画マスタープランの中でのコンパクトなまちづくりの考え方（38.9%）

## 問1-2 コンパクトなまちづくりに向けた現在の取組状況（複数回答）



- ・ 公営住宅の集約化による管理戸数の減少（52.5%）
- ・ まちなかへの公的・民間賃貸住宅の整備促進（52.5%）
- ・ 空き家、空き店舗などをお試し居住や移住の受け皿としての活用（43.2%）

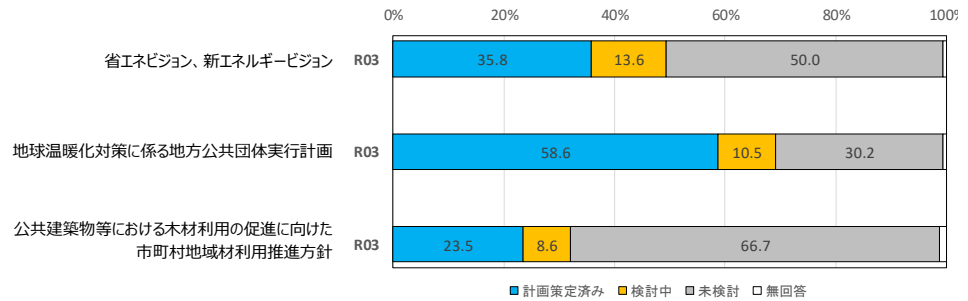
## 問 1-3 コンパクトなまちづくりに向けた取組についての課題・問題点（複数回答）



- ・住民等の合意形成における十分な効果等説明（52.5%）
- ・推進体制・スペシャリスト・コーディネーターの不足（42.0%）
- ・利害関係者等の調整（38.9%）

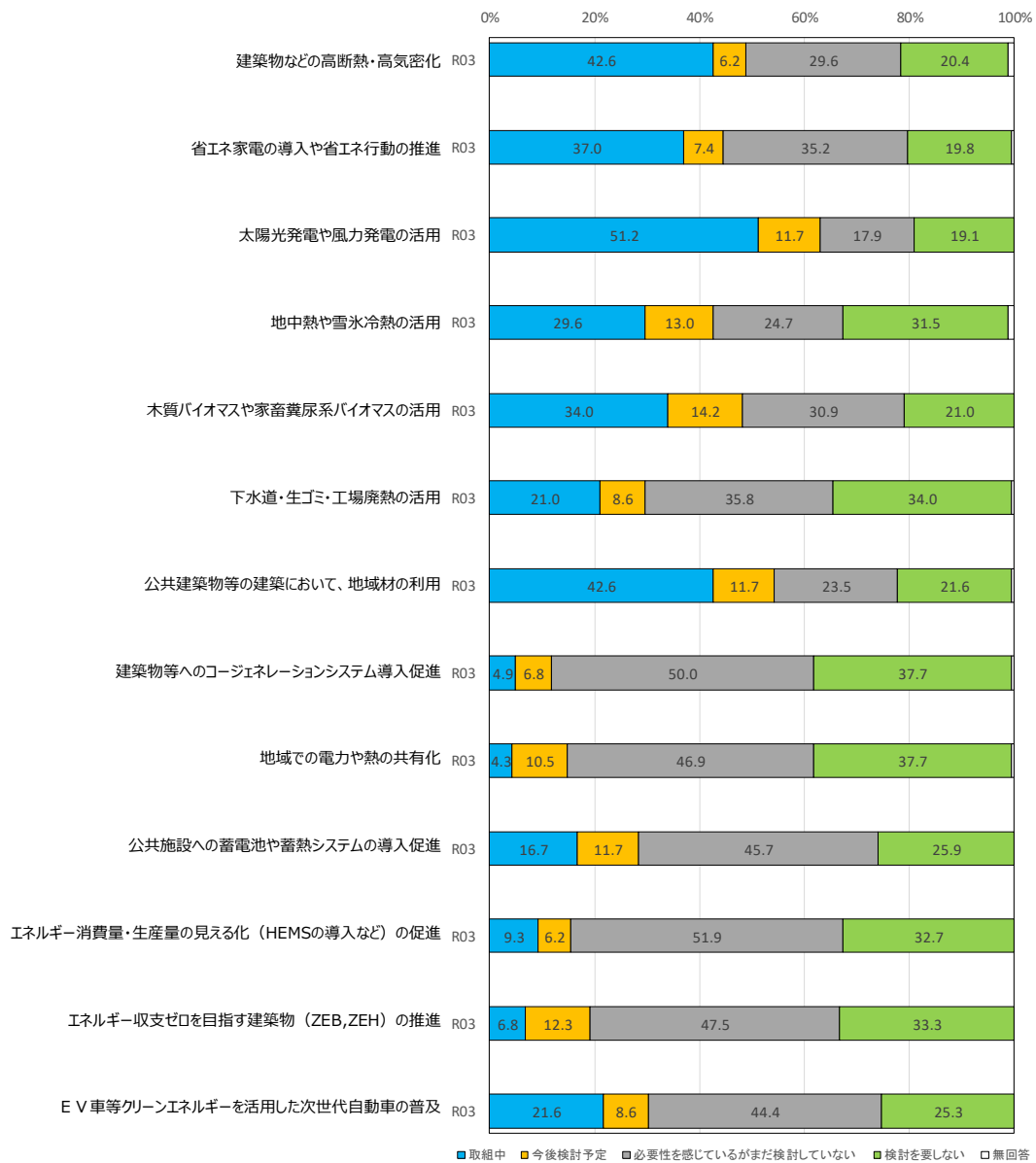
## 2. 低炭素・資源循環に関する取組状況について

## 問 2 - 1 低炭素化・資源循環に関する計画の策定状況（複数回答）



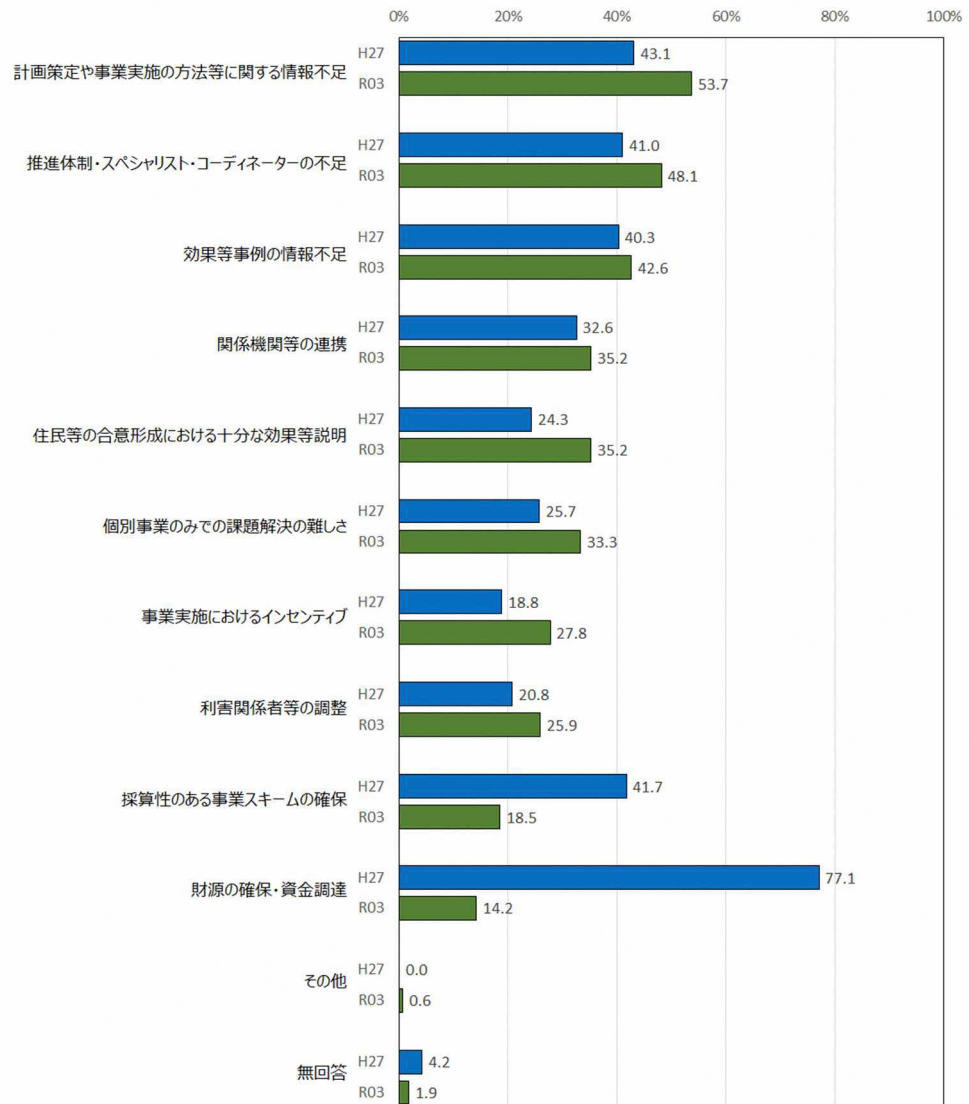
- ・ 地球温暖化対策に係る地方公共団体実行計画（58.6%）
- ・ 省エネビジョン、新エネルギービジョン（35.8%）

問 2-2 低炭素化・資源循環に関するまちづくりに向けた現在の取組状況（複数回答）



- ・ 太陽光発電や風力の活用（51.2%）
- ・ 建築物などの高断熱・高気密化（42.6%）
- ・ 公共建築物等の建築において、地域材の利用（42.6%）

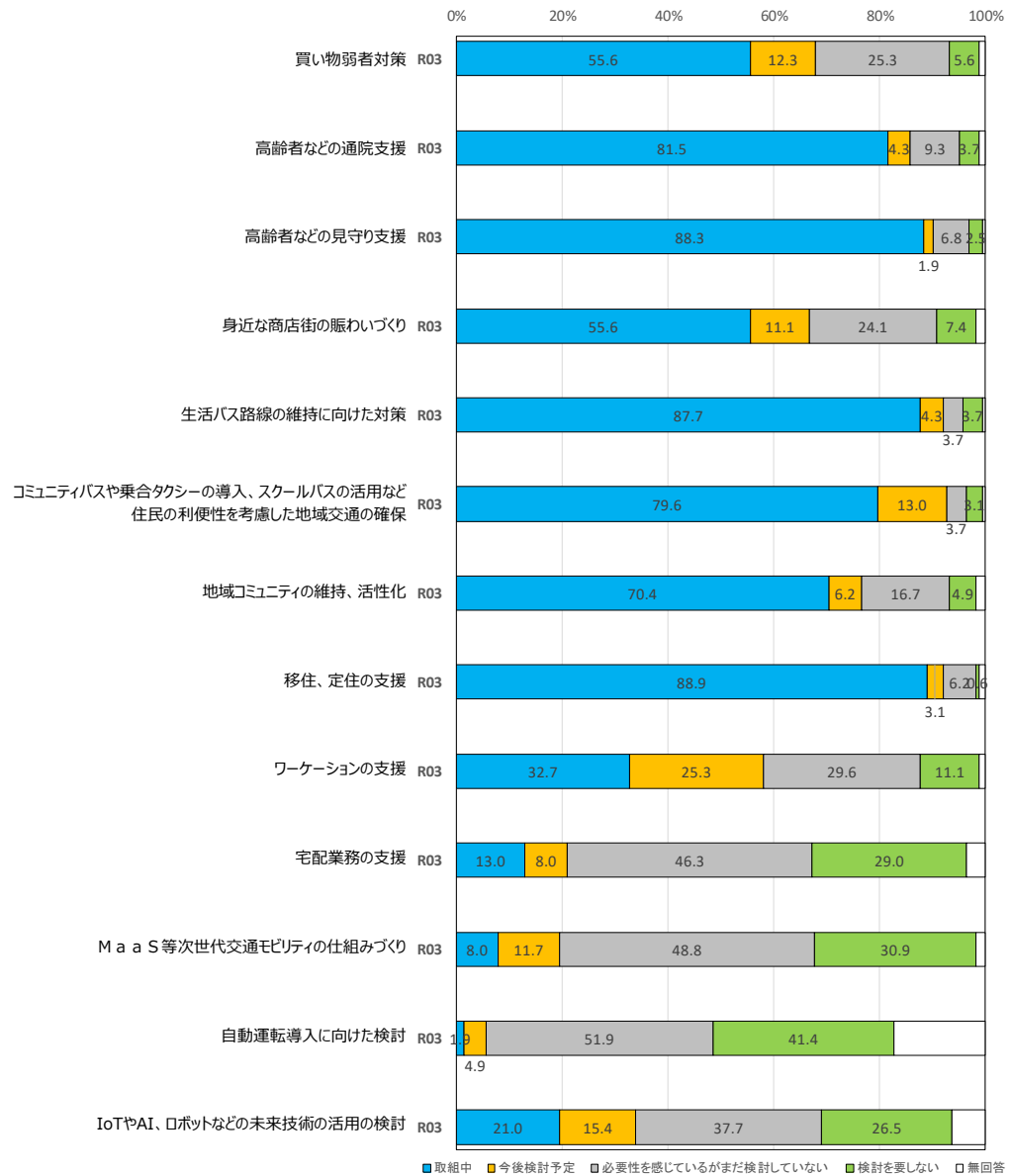
## 問 2 - 3 低炭素化・資源循環に関するまちづくりに向けた取組についての課題・問題点（複数回答）



- ・ 計画策定や事業実施の方法等に関する情報不足（53.7%）
- ・ 推進体制・スペシャリスト・コーディネーターの不足（48.1%）
- ・ 効果等事例の情報不足（42.6%）

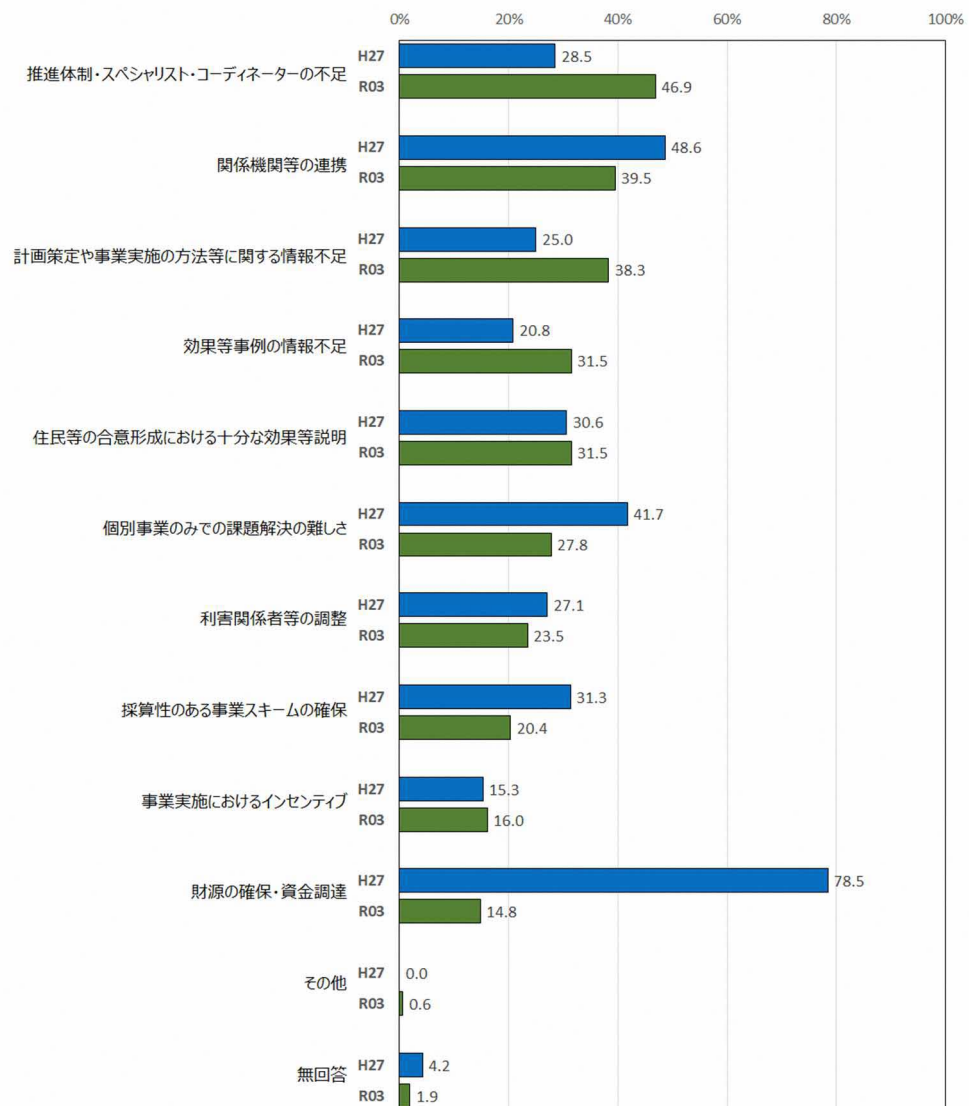
3. 生活を支える取組に関する取組状況について

問 3 - 1 生活を支える取組に関する取組状況（複数回答）



- ・ 移住、定住の支援（88.9%）
- ・ 高齢者などの見守り支援（88.3%）
- ・ 生活バス路線の維持に向けた対策（87.7%）

## 問 3 - 2 生活を支える取組についての課題・問題点（複数回答）

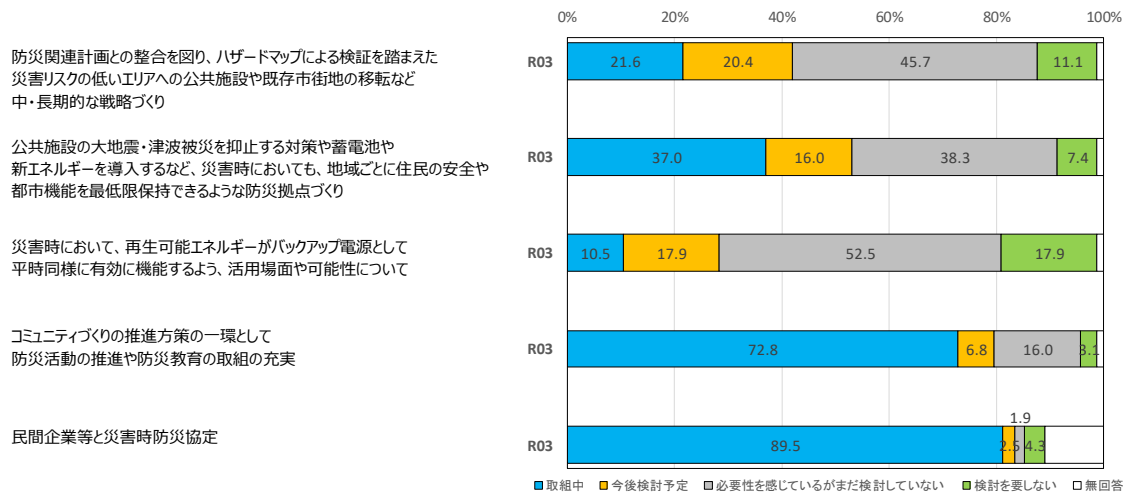


- ・ 推進体制・スペシャリスト・コーディネーターの不足（46.9%）
- ・ 関係機関等の連携（39.5%）
- ・ 計画策定や事業実施の方法等に関する情報不足（38.3%）



## 4. 防災に関する取組状況について

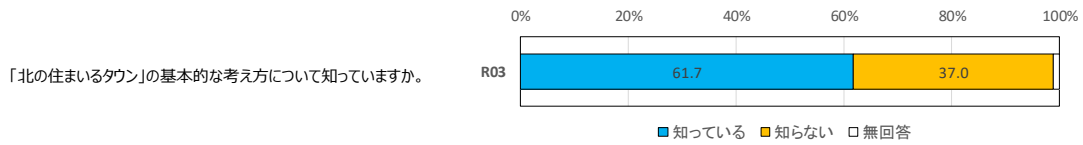
## 問 4 - 1 防災に関する取組状況（複数回答）



- ・ 民間企業等と災害時防災協定（89.5%）
- ・ コミュニティづくりの推進方策の一環として防災活動の推進や防災教育の取組の充実（72.8%）

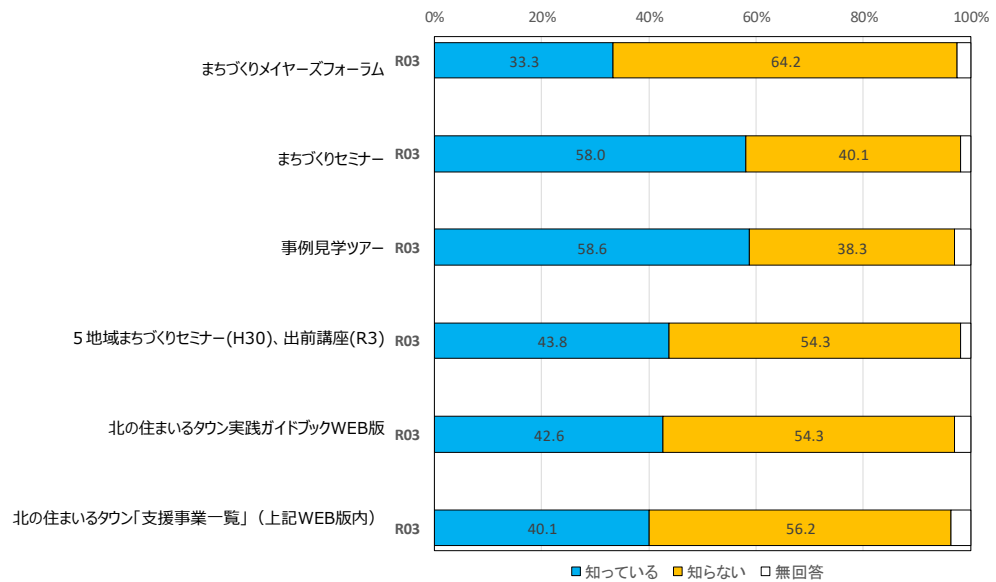
## 5. 「北の住まいるタウン」の取組について

## 問5-1 「北の住まいるタウン」の基本的な考え方について知っているか



・知っている (61.7%)

## 問5-2 「北の住まいるタウン」の考え方の普及啓発のために実施を希望する取組 (複数回答)

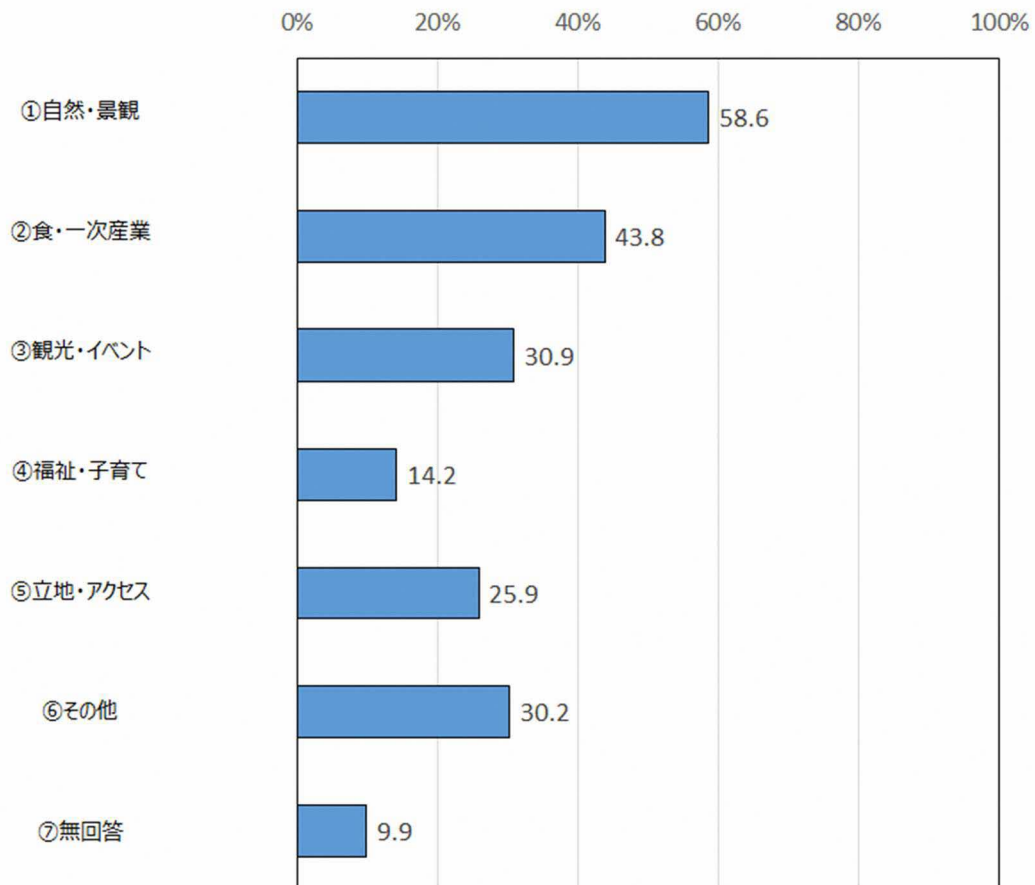


・事例見学ツアー (58.6%)  
 ・まちづくりセミナー (58.0%)

## 6. 将来を見据えた地域づくりについて

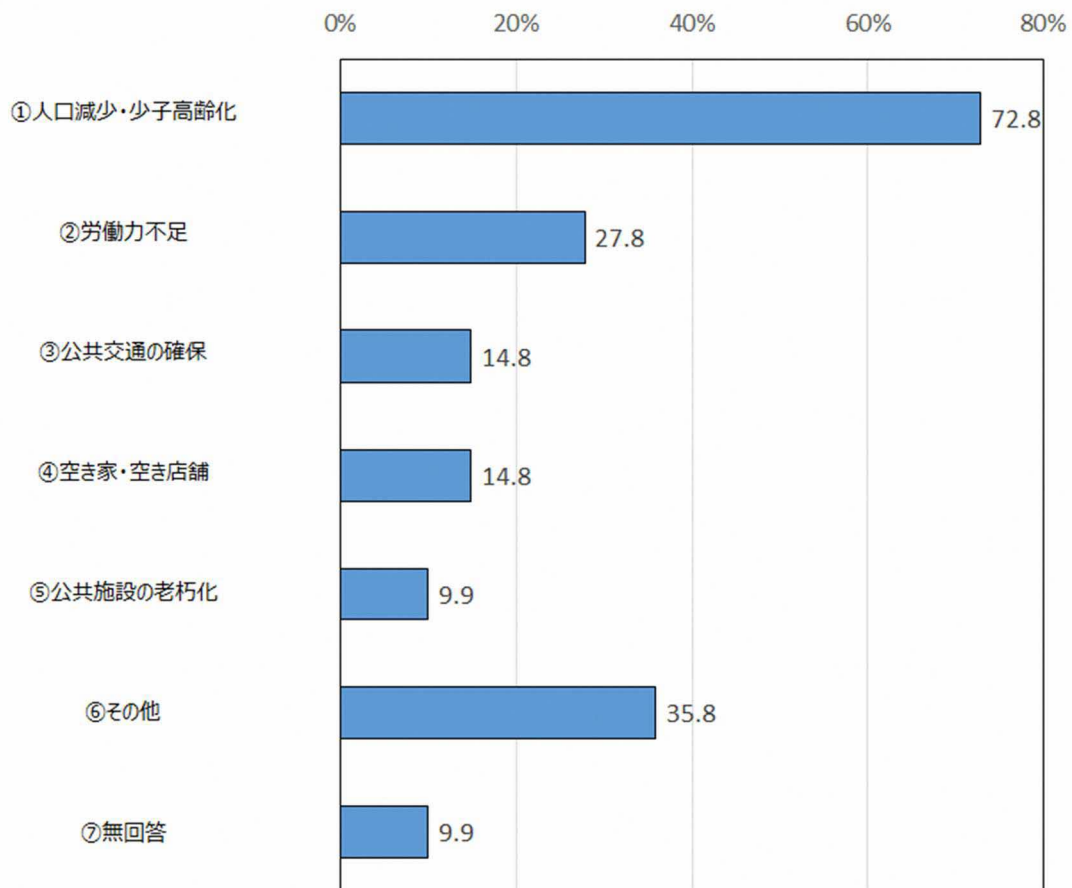
問 6-1 10~30年先の将来を見据えた地域づくりを進めていく上での地域の魅力や課題

問 6-1-① あなたの地域の魅力を教えてください（自由記載）



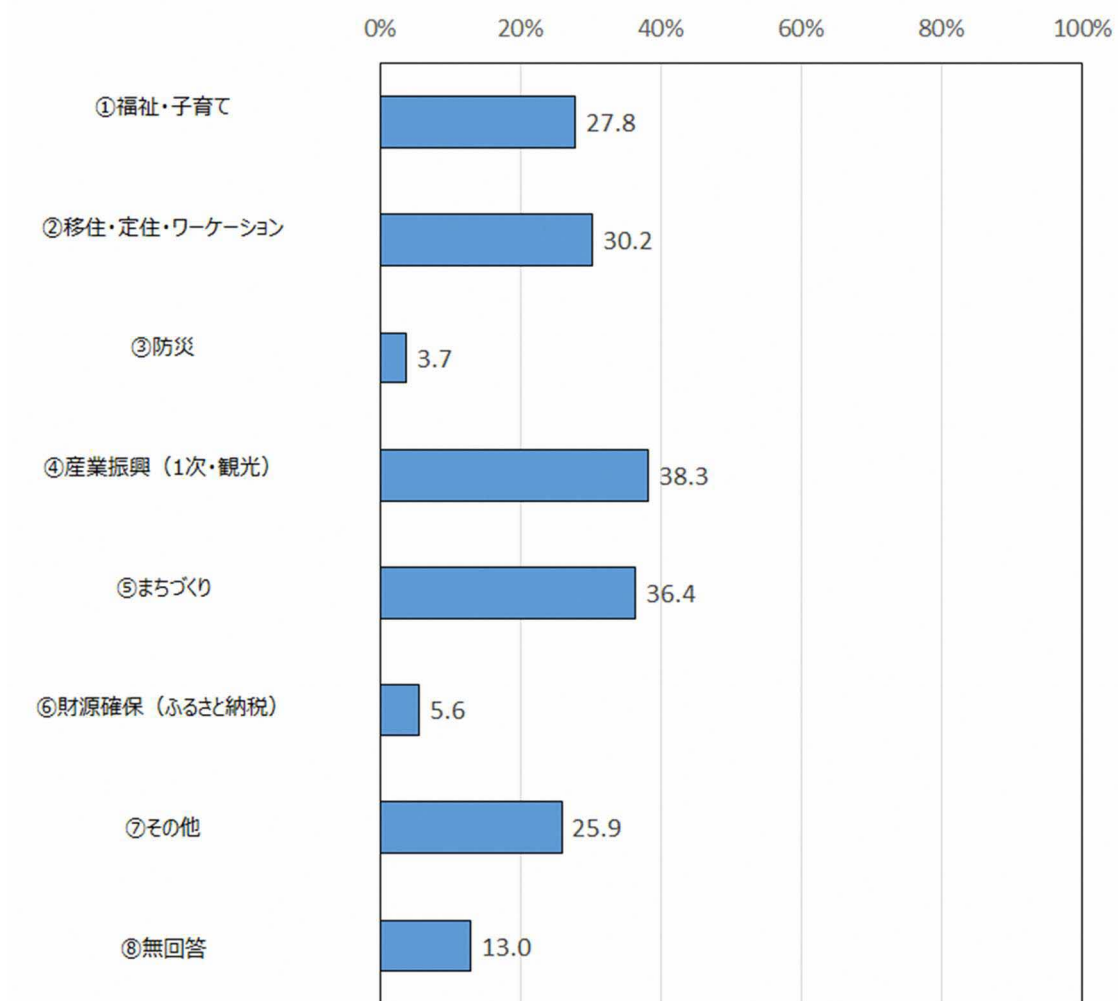
- ・ 自然・景観 (58.6%)
- ・ 食・一次産業 (43.8%)
- ・ その他 (30.2%)
  - バイオガスプラント
  - 自然災害が少ない
  - 日本有数の馬産地
  - コンパクトなまちなみ
  - 豊富な水資源
  - 寒さ
  - 国指定重要文化財などの特色ある歴史・文化
  - 子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまち

## 問 6 - 1 - ② 地域が抱えている課題を教えてください（自由記載）



- ・ 人口減少・少子高齢化（72.8%）
- ・ 労働力不足（27.8%）
- ・ その他（35.8%）
  - ごみ処理など環境負荷を減らした循環型社会の形成
  - 不漁による関連産業の低迷
  - 大都市、中都市との交通の利便性に乏しい
  - 人口規模に応じたコンパクトなまちづくり
  - 市街地が点在しているため、同種の公共施設が複数存在している。
  - 若い人材のコミュニケーションの不足
  - 外国人の転入や外国資本がもたらす環境の変化
  - 災害対策
  - 小中学校の統廃合

## 問6-1-③ 地域でいま力を入れている取組を教えてください（自由記載）



- ・産業振興（1次・観光）（38.3%）
- ・まちづくり（36.4%）
- ・移住、定住・ワーケーション（30.2%）
- ・その他（25.9%）
  - DX化推進
  - バイオマスエネルギー
  - コロナ禍における経済対策
  - 雪冷熱エネルギーの活用
  - 地域公共交通
  - 町内会加入促進の取り組み

**7. その他、意見・要望について****問 7-1 「北の住まいるタウン」の取組の推進に向けて、普及啓発のほか、効果的な道の****支援についての主な意見・要望**

- ・ 振興局は異なるが同じような人口規模の町村が、情報交換できる場の設置。
- ・ 引き続き、メイヤーズフォーラムやセミナーによる情報の提供。
- ・ 事業周知の継続と代表的な事例による普及啓発。
- ・ 人材面、資金面での支援及び首長への継続的な情報提供等。

**問 7-2 「北の住まいるタウン」の取組において、今後、充実、改善すべき主な意見**

- ・ 新型コロナの感染症により、移動制限が有る場合、視察及び出張は困難であるため、研修及び説明会における WEB 会議の活用。
- ・ 地域の状況や課題は、その町に住んでいる住民が一番理解しており、行政と住民が交流出来る場を提供し、課題解決に向けて協力していくことが大切。行政と地元住民及び企業が交流できる、ワークショップや意見交換会の充実。
- ・ 3つの課題をまとめて1つにして考えることによるメリットがあまり感じられないので、簡単にイメージできるようなわかりやすい事例の提供。
- ・ 今後も自治体の職員が参加しやすい事業の継続。